

# 秋田市の先人たち

秋田の情景を描き続けた  
版画家

# 勝平得之

明治三十七（一九〇四）年生  
昭和四十六（一九七二）年没

大町六丁目（旧鉄砲町）生まれ



## 主な事蹟

独学で版画の絵・彫り・摺りの三つの工程を学び、独自の色鮮やかな彩色版画の技法を生み出した。以後、ふるさと秋田の自然や民俗を描き続け、昭和四（一九二九）年、日本版画協会展に「外濠夜景」「八橋街道」が入選。その後、展覧会に多数入選して名をとどろかせた。昭和十（一九三五）年、秋田県を訪れた建築家ブルーノ・タウトと知り合い、作品が世界に紹介された。